

高齢者住宅関連調査（１）

高齢者住宅に関する調査計画業務として、「地域高齢者住宅計画」と、これに基づく「シルバーハウジング」を数多く取組んでいます。

また、「コレクティブハウジング」の開発や、「高齢者向け優良賃貸住宅」のマニュアル、基準等の策定業務を行っています。

さらに近年は、ストックの有効活用を図りながら、高齢者の安心居住をめざし、高齢者の住み替え支援業務に取り組んでいます。

高齢者の住み替え支援システム検討調査（2003年 兵庫県）

・本調査では、高齢者の安定居住の確保を図るため、多自然地域等の郊外部への住み替えの観点から、「小野長寿の（仮称）」をモデル地区とし、主に団塊の世代を対象とした住み替え意向や課題の把握等を行いながら、高齢者の住み替え支援システムの検討を行いました。

・その中で、

- ①生涯にわたるコンサルティングシステム
- ②高齢者終身居住システム
- ③高齢者の保有住宅活用システム

の3つの住み替え支援システムを事業コンソーシアムがパッケージ化して提供することを提案しています。

高齢者の住宅資産の活用による安心居住システム検討調査（2002年 国土交通省・（財）高齢者住宅財団）

- ・ストック社会に移行する中、住宅資産の活用により高齢期を安心して暮らすための方策が求められています。
- ・2002年、国では「高齢者の住宅資産の活用による安心居住システム検討委員会」を設置し、住宅資産の活用と円滑な住み替えを支援するための具体方策や、証券化などによる高齢者の資産活用スキーム、カウンセリングプログラムの検討を行いました。
- ・当社は、その一環として、住み替え先の高齢者向け住宅・施設の的確な供給方策について検討するとともに、全国の高齢者向け優良賃貸住宅の実態調査を実施し今後の事業支援のあり方について検討しました。
- ・また、3地区を対象に「住み替えパイロットプロジェクト」を実施し、当該地区における住み替えの実態と住み替えパターンを把握し、住宅資産活用による住み替えの課題と対応を検討しました。

多自然地域への住み替え支援システム

